

2020年3月期第1四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

■減収減益。四半期利益(親会社所有者帰属)の進捗率は約21%。

◇収益	1,684 億円	1.9% 減収
◇営業活動に係る利益	58 億円	14.7% 減益
◇税引前四半期利益	58 億円	15.4% 減益
◇親会社の所有者に帰属する四半期利益	35 億円	14.6% 減益

損益の状況

(単位:億円)	2019/3期 第1四半期	2020/3期 第1四半期	前年同期比		2020/3期 見通し	
			増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	1,717	1,684	△ 33	△1.9%	7,400	22.8%
売上総利益	255	252	△ 2	△0.9%	-	-
販売費・一般管理費	△ 190	△ 195	△ 5	-	-	-
その他の収益・費用	4	1	△ 3	△66.8%	-	-
営業活動に係る利益	68	58	△ 10	△14.7%	310	18.8%
利息収支	△ 5	△ 6	△ 1	-	-	-
受取配当金	5	4	△ 0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 0	△ 0	△ 0	-	-	-
金融収益・費用	△ 1	△ 3	△ 2	-	-	-
持分法による投資損益	1	2	1	-	-	-
税引前四半期利益	68	58	△ 11	△15.4%	300	19.3%
法人所得税費用	△ 22	△ 18	4	-	-	-
当期利益	47	40	△ 7	△14.4%	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	41	35	△ 6	△14.6%	170	20.7%

【収益】
食料セグメントでは増収も、車両・航空セグメント、電子・デバイスセグメントを中心に、33億円の減収。

【営業活動に係る利益】
電子・デバイスセグメントでは増益も、鉄鋼・素材・プラントセグメント、車両・航空セグメントを中心に、10億円の減益。

【税引前四半期利益】
営業活動に係る利益の減少により、11億円の減益。

【親会社の所有者に帰属する四半期利益】
税引前四半期利益の減少に伴い、6億円の減益。

1株当たり四半期利益 (円)	48.98	42.19	△ 6.79	△13.9%	202.93	20.7%
----------------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

セグメント情報

(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2019/3期 第1四半期	2020/3期 第1四半期	前年同期比 増減	2019/3期 第1四半期	2020/3期 第1四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	569	556	△ 13	25	28	3
食料	624	629	6	17	15	△ 2
鉄鋼・素材・プラント	324	316	△ 9	10	4	△ 6
車両・航空	170	153	△ 17	14	9	△ 5
報告セグメント合計	1,687	1,654	△ 32	66	56	△ 10
その他(含む調整額)	30	30	△ 0	3	3	0
総合計	1,717	1,684	△ 33	68	58	△ 10

【電子・デバイス】減収増益
ICTソリューション事業は、一部案件の納期長期化などにより、低調な立ち上がり。モバイル事業は、料金分離プラン導入前の駆け込み需要などもあり、堅調に推移。電子機器事業はカードプリンター会社の前期での連結子会社化も寄与し堅調に推移。

【食料】増収減益
食糧事業は、相場環境は安定的に推移したものの、水産飼料取引が南米漁獲量の減少により低調な立ち上がり。食品事業は、農産加工品取引が安定した需要に支えられ堅調に推移。畜産事業は全畜種で堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】減収減益
エネルギー事業は、国内取引を中心に堅調に推移。鉄鋼事業は、引き続き通商問題等の影響により低調に推移。油井管事業は、油価下落を背景に油井管市況が若干のスローダウン。プラントインフラ事業は、中東向け取引の停止により減益。

【車両・航空】減収減益
航空・宇宙事業は、前期好調だった反動により減益。車両・車載部品事業では、中東向け取引の停止により減益。

資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2019/3末	2019/6末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	5,495	5,438	△ 57	△1.0%
グロス有利子負債(注1)	1,395	1,569	174	12.5%
ネット有利子負債	500	710	210	42.1%
自己資本(注2)	1,252	1,241	△ 11	△0.9%
内、利益剰余金	607	614	6	1.0%
内、その他の資本の 構成要素合計	112	94	△ 18	△16.2%
自己資本比率(注3)	22.8%	22.8%	横這い	-
ネットDER(注4)	0.40倍	0.57倍	0.17pt増加	-

【総資産】
営業債権及びその他の債権の減少等により、57億円の減少。

【有利子負債】
ネット有利子負債は210億円の増加。(内、IFRS第16号「リース」適用による影響等により、169億円の増加。)

【自己資本】
利益剰余金の積上げがあった一方、為替相場の変動による在外営業活動体の換算差額減少により、11億円減少。

自己資本比率は22.8%。
ネットDERは0.57倍の水準。
(IFRS第16号「リース」適用前ベースでは、0.44倍の水準。)

(注1)2020年3月期よりIFRS第16号「リース」が強制適用となったことに伴い、期首に約169億円のリース債務を認識したため、増加しております。
(注2)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」(注3)自己資本比率=自己資本/総資産
(注4)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)	2019/3期 第1四半期	2020/3期 第1四半期
営業活動によるCF	19	18
投資活動によるCF	△ 6	△ 11
フリーキャッシュフロー	13	7
財務活動によるCF	△ 25	△ 41
現金・現金同等物の増減	△ 12	△ 34

【営業活動によるCF】
営業収入の積上げ等により、18億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】
有形固定資産の取得等により、11億円のキャッシュ・アウト。

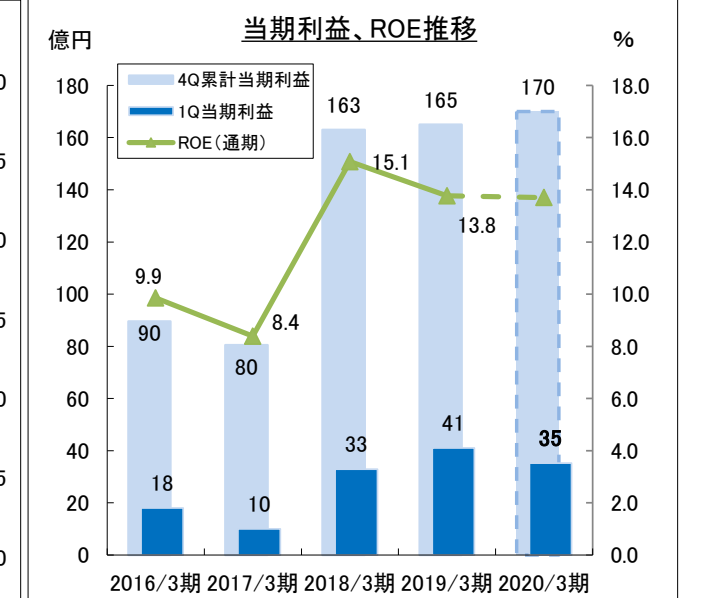
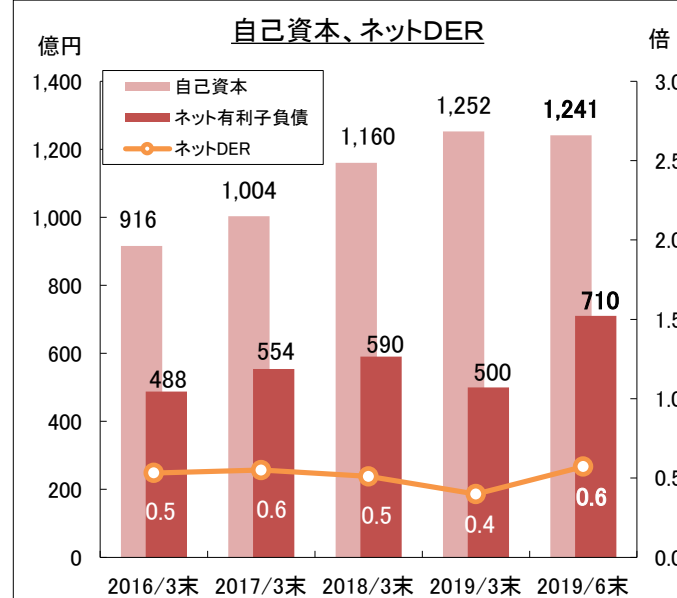
【財務活動によるCF】
配当金の支払いやリース債務の返済等により、41億円のキャッシュ・アウト。

(注)2020年3月期よりIFRS第16号「リース」が強制適用となったことに伴い、営業活動によるCFは適用前より12億円の増加、財務活動によるCFは同じく12億円の減少となっております。

配当の状況

【2019/3期】	
中間配当	1株当たり 25 円
期末配当	1株当たり 35 円
年間配当	1株当たり 60 円
【2020/3期】	
中間配当(予想)	1株当たり 30 円
期末配当(予想)	1株当たり 30 円
年間配当(予想)	1株当たり 60 円

	2018/3期	2019/3期	2020/3期 (予想)
連結配当性向	24.8%	30.3%	29.6%



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。